



R6 研究構想シート		学校名	出雲市立鰐淵小学校
		氏名	有田由美
A 研究主題 主体的に学び合い、共に思考を深め、高め合う子どもの育成 2年次 ～つながりを構築する授業づくりを通して～			
B 研究の目的 主体的に学び合い、共に思考を深め、高め合う子どもを育成するための支援の在り方を明らかにする。			
C 子どもの実態  ①真面目に学習に取り組むことはできるが、学習に対して受け身的な面があり、自分や自分たちの力で粘り強く考え、授業のめあてを達成しようという意欲に欠ける。【主体的に学ぶ意欲】  ②友達の意見を聞いて肯定的な反応はするが、付け加えや質問、反論等、友達の意見や考えを踏まえて一歩踏み込んだ発言につながらない。【聴く力】  ③友達の考えや既習事項を活かしながら学びを深めていくことが難しい。また、まとめたり振り返ったりするなど適切に言語化することができていない。【つなげる力・まとめる力】	E 手立て・内容（研究仮説）  前提 ☆授業のゴールを明確にした、ブレないねらいを設定する（めあてと振り返りを意識した授業スタンダード） ○ ねらいを達成するための適切な課題（発問）を設定する。 ○ 一人一人の思考を表出する場を設定する。 ○ 思考をつなぐ働きかけをすく ・整理する…板書、ワークシート、思考ツール ・明確にする…意図や根拠を問う 相違やつながりを問い返す ・価値づける…新たな気づきにつなげる評価言 学びや変容を自覚させる振り返り		D めざす子どもの姿 実態①より 自ら課題に向かい、見通しをもって最後まであきらめずに <b>主体的</b> に取り組む子ども  ②③より 協働や対話を通して <b>自分の考えを広げたり</b> 、学びを関連づけて <b>深く理解</b> したりする子ども   主体的・対話的で深い学びの実現によって近づく姿   私たちがめざす授業の姿  子どもの思考をつなげながら、 <b>ねらいに迫っていく</b> 授業
	F 検証方法  ・授業のねらいを達成したか、評価基準に照らして検討する。 ・単元を通してどんな学びがあったと自覚しているか、子どものノート等への記述から変容をみとる。 ・児童アンケート（6月・12月）		
	G 研究計画  1学期 子どもの実態、めざす姿、内容等の検討 学力向上訪問指導 授業研究 夏季休業中 6年目研 授業検討会 学力調査分析 2学期 各学級 授業研究（事前検討も研究職員会で） 児童アンケートより検討 3学期はじめ 研究のまとめ		